

3. 春日井市「土曜チャレンジアップ教室事業」を参考とした本市「放課後子ども教室事業」の充実について

- (1) 放課後子ども教室において関係講師を招き、子どもたちが地域の伝統文化やその歴史に触れる事の出来る機会づくりについて
- (2) 放課後子ども教室の講師を再度大学に依頼することについて
- (3) 放課後子ども教室事業の充実に向けて、F C大阪と連携し、様々な取り組みを実施することについて

【答弁】

3. 春日井市「土曜チャレンジアップ教室事業」を参考にした本市「放課後子ども教室」の充実についての(1)から(3)につきまして、順次お答え申し上げます。

はじめに、(1)でございますが、本市の放課後子ども教室は、ボランティア指導員の協力を得ながら、文化・スポーツを始め、各種のメニューを実施することにより、放課後の時間を有効に使いながら、子ども同志の交流を深めるとともに、様々な体験の機会を提供しているところでございます。こうした中、放課後子ども教室において「地域の伝統文化や歴史」に触れる機会を提供することは、子ども達が楽しい時間を過ごせるとともに地域への関心、興味や愛着を高めるのに非常に効果的と考えられることから、具体には、河内音頭保存会や南河内にわか保存会等の伝統行事を推進する団体と協議を進めてまいりたいと考えております。

次に、(2)でございますが、放課後子ども教室の指導員として、将来教員を目指す、大学生の参加協力を得ることにより、放課後子ども教室の活性化が期待されます。また、大学生にとっても、貴重な教育体験の場として、積極的な活用が考えられることから、本市と連携協力に関する基本協定を締結している大阪大谷大学などへの働きかけを進めてまいりたいと考えております。

続いて、(3)でございますが、放課後子ども教室において、例えば、プロサッカーチームF C大阪選手によるサッカー指導が実現すれば、子ども達にとって、普段なかなか体験することのできない貴重な経験になるとともに大きな刺激になり、大変意義があると考えます。また、F C大阪は、「大阪府教育コミュニティづくり」の応援企業に登録し、青少年の健全育成に協力されていますので、今後、F C大阪との連携について、協議を進めてまいりたいと考えております。

以上でお答えとさせていただきます。